

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	レクリエーション論	担当者名	木村 博子
授業の概要	レクリエーション・インストラクターとして、市町村協会を基盤に様々な活動を展開していけるように必要な知識や技術を実践を通して学ぶ。日本レクリエーション協会公認資格取得科目である。				
科目の到達目標	①レクリエーションの基礎理念を理解する。②人(幼児)と人(幼児)、高齢者と高齢者の架け橋になるための方法を身につける。				
DPの観点	②専門知識・技能④協働⑤コミュニケーション能力⑦主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	毎回の授業内容(レクリエーションの運動の歴史について、言語的・非言語的コミュニケーションについてなど)に関する情報収集、復習を行う(30分～1時間)				
フィードバックの方法	レポートや提出物については、コメントを付して返却する。授業での発表とコミュニケーション活動ではその都度コメントやアドバイスを伝える。				
単位認定の要件	授業内での課題についてその都度提出し、定められた基準を満たすこと。				
評価の方法・割合(%)	期末試験60%、授業内提出物20%。授業内態度20%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			レクリエーションとは。レクリエーション運動の歴史と支える制度	②、⑦	ミニッツペーパー
2			レクリエーション活動の楽しさを感じる心の仕組みについて	②、⑦	ミニッツペーパー
3			レクリエーション活動を集団で行う楽しさを感じる心の仕組みについて	②、⑦	ミニッツペーパー
4			コミュニケーションと信頼関係づくりの理論	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
5			良好な集団づくりの理論	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
6			自主的主体的に楽しむ力を高める理論	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
7			信頼関係づくりの方法・ホスピタリティⅠ(あたたかくもてなす意識)	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
8			信頼関係づくりの方法・ホスピタリティⅡ(あたたかくもてなす配慮)	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
9			良好な集団づくりの方法Ⅰ(集団がまとまる仕組みを活かすプログラム)	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
10			良好な集団作りの方法Ⅱ(アイスブレイキングの効果を高める支援技術)	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
11			自主的主体的に楽しむ力を高める展開方法Ⅰ(一つの活動の中で複数回の成功体験を楽しむ)	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
12			自主的主体的に楽しむ力を高める展開方法Ⅱ(目標の設定の原則)	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
13			自主的主体的に楽しむ力を高める展開方法Ⅲ(技術・経験のつながり)	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
14			自主的主体的に楽しむ力を高める展開方法Ⅳ(アイスブレイキングの効果を高める技術)	②、④、⑤、⑦	ミニッツペーパー
15			レクリエーション支援の実施(レクリエーション活動を対象者に合わせるアレンジ)	②、④、⑤、⑦	実施内容
期末試験			モデルプログラムの習得(レクリエーション活動を対象者に合わせるプログラムを作成)		

使用テキスト	「楽しさをおとした心の元気づくり～レクリエーション支援の理論と方法」公益財団法人日本レクリエーション協会出版
参考文献 参考URL	「福祉レクリエーションの援助と実際」(公財)日本レクリエーション協会
備考	毎時間、G(ゲーム)D(ダンス)S(ソング)を2～3個は行っていく。

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	----------------------------------------------------------------

授業の自己評価	
---------	--